

三崎出張所 神 原 勇

英名 Common dolphin

イルカ類は漁船やカーフェリーの船付近で船とたわむれるように泳ぐこともあるので、他の鯨類より一般に馴れじみ深いものがある。高速船とも同様に競泳し瞬間速力は30ノットに達するものもあって駆逐艦なみの高速力である。このような高速力は何に起因するのであろうか。魚類の表面を被うヌルヌルとした粘液を溶かした水で粘性を測定すると粘性が減少するので、イルカもこのような高分子物質を体側面の水に溶かしながら泳ぐものとする、抵抗の少ない水の中を泳ぐことになるので小さい馬力で高速力が得られるかもしれない。泳ぐときは体側の表面に沿って流れが生じ体の後半部には渦が出来るので渦による乱流が前進抵抗を急激に増加させる。魚類は鱗が渦の発生を消し去るような役割をはたし、遊泳抵抗を減少させているかもしれない。イルカは体表面に生ずる表皮のシワ（皮膚の凹凸の波）がこの役目をしていることが、二・三の実験により確認されているがまだ定説とはなっていない。

全世界、温帯乃至熱帯海域に分布シ、北アメリカ沿岸に生息スルハ
アメリカマイルカ (*Delphinus bairdi*)、南アメリカ沿岸に生息スルハ
ハセイルカ (*Delphinus capensis*) ト呼稱スル。群ヲナシテ沖合
ヲ回游スルが、射ト晩ニ大群ヲ形成スルが、日中ハ小群ヲ行動スルヲ見
トス。体長2m前後、体形ハ典型的ナシウロコ形ナリ、背鰭ハ中位、大キク、
後縁ガ鋸状ニ曲ラス、一見シテコリ直角三角形トナライル。体色ハ背面、
黒色、腹部、白色ナリ、背鰭下方ヨリ斑状ナライル。食餌ハイワシ、
サバ、等群、魚、蟹、魚類、他、ヲ捕食ス。伊豆地方デハ
スズイルカ、コトマイルカト呼ビタルヨリ、日本沿岸トハ他ノ種、
モトモト異同ヲ稱サレイル。

